

2009年1月号

シビル メール ニュース



これまでに配信されましたシビルメールニュースは、「日本大学理工学部土木工学科」のホームページ(<http://www.civil.cst.nihon-u.ac.jp>)より『OB向け情報』→『シビルメールニュース』でご覧いただけます。なお、シビルメールニュースをE-mailにて配信ご希望の方もしくは郵送を希望される方は、卒業年次・氏名・勤務先・配信メールアドレス（郵送先住所）を明記の上、mailnews@civil.cst.nihon-u.ac.jp宛お申し込み下さい。

発行責任者 土木工学科教授・教室主任 松島眸

教室主任 松島眸教授より新年の挨拶です



平成 21 年の年頭にあたりご挨拶申し上げます。校友の皆様方には静かに厳かに健やかに新年をお迎えのことと思います。昨年春以降から急速に原油価格が高騰乱下し、その直後には米国での金融経済が未曾有の大減速事態に直面し、その結果、世界各国の実体経済が縮小後退への転換を余儀なくされ、輸出型産業を基盤とする技術立国日本の社会においても実体経済が憂慮すべき事態に陥ろうとしています。また、世界では大気温暖化や異常降雨など気候変動の実態に関する警鐘が大きく報道され、地球環境への保全対策の確立と早急な実施が求められている状況です。近年においては公共事業に対する事業費が削減され、事業計画の見直しや建設業界の体質改善が求められてきたことも事実です。日本の社会環境は建設事業にも厳しい時代ではありますが、土木技術者はその使命が人々の安全性と快適性を図りかつ国家社会を保全することであることを思えば何時の時代にも必要にして不可欠であることはことさら言うまでもありません。困難な時代背景において、新しい年に向けて皆様方が社会から真に求められる土木技術者としてご活躍されますよう期待してやみません。

就職懇談会が開催される

12月2日（火）に駿河台校舎9号館901教室にて土木工学科就職懇談会が開催されました。これは、毎年行われている土木工学科の恒例行事で、今回は24社の企業に参加していただきました。懇談会は企業ごとにブースを設置し、1回の説明時間を25分とし、それを4回行い、1回の説明時間に学生が好きなブースで25分間説明を受けることが出来る形式を取って行っています。今回は約150名の学部3年生と大学院1年生が参加し、企業の方々からの業務内容等の説明に熱心に耳を傾けていました。

懇談会終了後は、1号館2階カフェテリアにて懇親会が行われ、教職員一同、企業の方との交流を深めていました。



懇談会場の様子



懇親会会場の様子

公務員合格者による公務員キックオフセミナーが開催される

12月8日（月）に駿河台校舎9号館901教室にて、理工学部主催公務員試験合格者による公務員キックオフセミナーが開催されました。このセミナーは、次年度の公務員試験受験希望者を対象にしており、今回も約70名の学生が参加しました。理工学部駿河台校舎次長井上勝夫教授の挨拶があり、株式会社実務教育出版の岡田卓三部長より公務員試験の概要について約15分説明を受け、続いて土木工学科の公務員試験対策委員の後藤浩専任講師の司会もとで、4名の公務員試験合格者による公務員試験合格体験談が行われました。公務員試験合格体験談は、1問1答形式で行われ、「勉強を始めた時期は?」「実際の試験で注意したことは?」「面接試験ではどのような対策をしたのか?」等、様々な質問がなされました。4人のパネリストの内、3人が土木工学科の学生でした。最後に、公務員試験対策委員会委員長の天野光一教授の挨拶があり、閉会となりました。

その後、土木工学科主催の公務員キックオフセミナーが開催され、質疑応答が行われました。



会場の公聴学生の様子



司会の後藤先生とパネリスト

公務員試験合格者 100 名を超える

平成21年1月13日現在、土木工学科の平成20年度公務員試験最終合格者が延べ101名（大学院生、既卒者を含む）になり、100名を突破しました。101名の合格先内訳については、右表の通りです。

公務員合格者内訳（延べ人数）

受験先	一次	最終
国家公務員Ⅰ種	3名	1名
国家公務員Ⅱ種	27名	12名
東京都Ⅰ類	6名	4名
東京都特別区	46名	25名
県庁	19名	9名
政令指定都市	37名	20名
市・その他	58名	30名
合計	196名	101名

（過年度生を含む）

最近の教員活躍状況



島崎敏一教授が、11月25日（火）に土木学会で開催された、土木学会関東支部交流部会主催「談話会～建設分野の失敗の活用～」において講演を行いました。島崎教授は、(独) 科学技術振興機構（JST）の失敗知識データベース推進委員会のメンバーの一人で、当日は建設分野における失敗学の活用、失敗の種類や情報の伝わり方、データベースの概要、失敗知識の考え方、具体事例などについて、講演を行いました。



鎌尾彰司准教授が12月3日（水）～12月4日（木）に神戸大学にて開催された第10回ジオシンセティックス入門セミナー及び第23回ジオシンセティックスシンポジウムに参加しました。鎌尾准教授は、国際ジオシンセティックス学会日本支部の学生教育委員長として入門セミナー及びシンポジウム、それぞれの企画、運営を行いました。



羽柴秀樹准教授が12月4日（木）～5日（金）に北海道情報大学にて開催された（社）日本リモートセンシング学会秋季学術講演会に出席しました。羽柴准教授は、高分解能衛星リモートセンシング研究会・幹事として研究会討論会のパネラーとして参加しました。研究討論会では学会に設置されたリモートセンシングに関する種々の研究会幹事が研究会活動についてのパネルディスカッションを行い、今後のリモートセンシングの方向性について活発な意見交換がなされました。



岸井隆幸教授、大沢昌玄助手が鳥取大学にて12月6日（土）～7日（日）に開催された日本不動産学会平成20年度秋季全国大会（学術講演会）に出席しました。岸井教授は都市開発のコメンテーターを務め、大沢助手は「わが国のニュータウン整備に関する基礎研究」を発表しました。

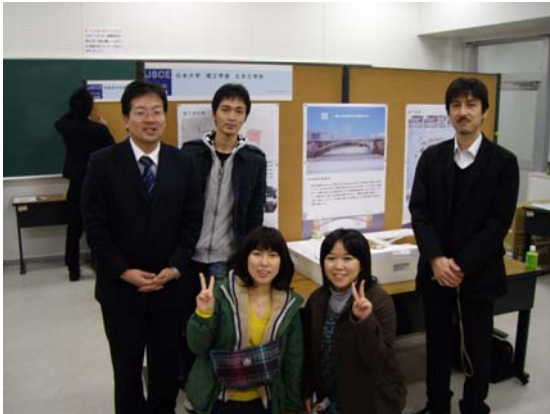


島崎敏一教授、金子雄一郎専任講師が、12月11日（木）に東京都内で開催された土木学会主催の第26回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会に参加しました。島崎教授が「公共事業の総合評価方式における企業の入札行動決定モデル」と題した論文発表（査読付）を、金子専任講師が「公開入札情報を用いた総合評価方式の実態分析」と「社会基盤施設整備計画の柔軟性評価－高速道路暫定2車線開業を例に－」と題した論文発表（査読付）をそれぞれ行いました。



金子雄一郎専任講師が、12月16日(火)～18日(木)に東京都内で開催された「第15回鉄道技術・政策連合シンポジウム(J-RAIL2008)」に参加しました。J-RAILは土木工学、機械工学、電気工学、交通学の研究者および技術者が一同に会して、最近の鉄道の一般技術、鉄道政策に関する研究成果を発表するシンポジウムで、「交通インフラ運営事業を対象としたM&Aの効果分析ー東京モノレールを対象としてー」、「通勤時間帯における緩行・急行列車の選択行動分析」と題した2件の研究発表を行いました(後者は大学院生の曾山君が発表)。また、実行委員として大会の企画・運営等に携わりました。

熊本大学にて12月12日(金)～14日(日)に開催された土木学会第4回景観・デザイン研究発表会において、3,4年生の講義である「シビックデザイン」で作成した四ツ谷駅(赤坂口)の再開発計画について、模型及びパネルを展示しました。展示した作品は、昨年度の最優秀作品であった4年生の大塚聡美さん、大越雄太郎君、渡部博子さんのもので、当日はその3名の学生とシビックデザイン担当の金光弘志先生と大沢昌玄助手も出席し作品を展示しました。



上段左から、大沢助手、大越君、金光先生
下段左から、渡部さん、大塚さん



土木学会第4回景観・デザイン研究発表会
に出展した模型及びパネル

OBの皆様へ

シビルメールニュースでは各地で活躍されているOBの方々を紹介するコーナーを設けたいと思いますので、OBの皆様方からのニュースをお寄せください。宛先は以下の通りです。

〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8-14 4号館3階438B 土木工学科事務室 CMN編集委員会宛
TEL 03-3259-0687 FAX 03-3293-3319 E-mail Zimushitsu@civil.cst.nihon-u.ac.jp